

障害のある学生の修学・就職支援促進事業 選定状況

○選定事業一覧

大学名	申請代表校：筑波技術大学 共同申請校：宮城教育大学、群馬大学、日本社会事業大学
取組概要	<p>本事業では、以下の取組によってこの構造的課題の解消を図る。産官学福連携による学術手話通訳支援プラットフォームを構築し、手話通訳支援を通して、聴覚障害学生の学びと生きる力の醸成を持続的に支えるための基盤を形成する。</p> <p>柱 1. 手話通訳を知る 聴覚障害学生のニーズに基づき、手話通訳を「特別な支援」から「合理的配慮の標準的選択肢の一つ」へ捉え直すりファレンススタンダードを確立し、手話通訳への理解の全国的な普及を図る。</p> <p>柱 2. 支援を実装する 支援体制や授業形態ごとに、複数のモデル事例の創出及び大学、学生、通訳者三者の立場別ガイドラインを開発し、全ての大学が手話通訳支援に取り組める環境を整備する。</p> <p>柱 3. 養成の基盤を作る 学術手話通訳の体系的な教材・研修プログラムを整備し、安定的な人材確保の基盤を確立する。</p>